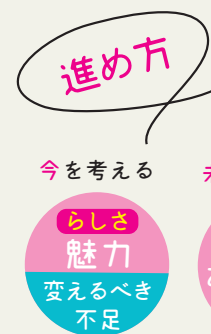


第3回 東員町みらい会議

2020年1月25日 10:00～12:00 役場 201～203 会議室

「かけがえのないもの」

今までの会議を経て、20の重要な視点から、私たちが40年後にも失ってはならない6つのかけがえのないものを整理しました。ここからはバックキャスティングで進めていきます。その前段として「ひと」と「まち」について考えていきます！



かけがえのないもの
から
バックキャスティング



■バックキャスティングとは、あるべき姿を決めて、その実現手段を考える思考法です。

40年後の未来にも東員町にかけがえのないもの

今までの会議を経て、20の重要な視点をさらに整理し、私たちが40年後にも失ってはならない6つのかけがえのないものが見えてきました。そして、それぞれのかけがえのないものが影響する「環境、社会、経済」3つの側面に分類しました。

20の視点



かけがえのないもの

暮らしやすさ

健康

家族

つながり

働く

学ぶ



環境

社会

経済

こうして町はできている

「ひと」について考える

東員町に住む人、関わる人にはどんな立場の人がいるのでしょうか。そして、その人たちの役割やあなたとの関わりはどんなところでしょうか。

農家、町長、家族、郵便局員、配達業者、マルシェ主催者、議員、専任体育委員、宮司、消防士、警察官、自衛官、警備員、消防団員、スポーツ指導者、老人、ボランティア、整形外科医、薬剤師、役場職員、コンビニの店員、近所の人、子ども、学生、お父さん、お母さん、看護師、介護士、年金暮らし、高齢者、シニアクラブ、外国人労働者、自治会長、独身の人、和菓子屋さん、先生、…

…などなど、みなさんからたくさんの立場の人があがっていました。まちには色々な立場の方がいますね。



続いては、それぞれの方の役割や自分との関わりを考えてみました。

○農家

野菜やコメなどの農作物を生産してくれる。田んぼの面倒を見てくれる。農業体験をさせてくれる。

○商店を営む人

身近なサービスを提供してくれる。

○建設業

家を建てる。水道をひく。電気を通すなど。

○ケーキ屋

笑顔を作る。誕生日など祝うときに必要。

○医師、薬剤師

病気の治療、命を守る。



「まち」について考える

「まち」とは色々な捉え方があります。改めて深く考えることはありませんが、「まち」とはいったいなんでしょうか？少し難しいテーマにみなさん協力してワークを進めていました。

「まち」とは？

- ・人ありきで成り立つもの。
- ・いろんな立場の人が集まり、形成する生活空間。
- ・みんなで協力し合い、共に生きていくための共同体。
- ・それぞれの人が得意分野を活かしながら協力してくらしている。
- ・誰かの仕事でできている。
- ・一人一人が安心できる場所。(働く、帰ってくる)
- ・生命を維持できる生活圏。
- ・環境、平和、人権が守られている場所。
- ・様々な人たちが相互作用してつながり、支え合う共同体・集合体。
- ・他町の境目までのライン。

「ひとがいて、まちがある」

まちには様々な人がいて、一見個々で暮らしているようですが、本当は誰かに必要とされ支え合い過ぎています。まちは、まちがあって、ひとがいるのではなく、ひとがいて、まちがあるのです。美容師さん、農家さん、会社員、家族、自治会長さんなど、みんながいるからまちは成り立ちます。みんなの営みが回り回ってまちの誰かの幸せを支えているんですね！